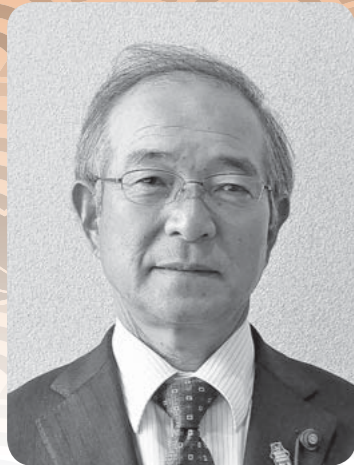


新年のごあいさつを 申し上げます



山都町議会議長 中村 一喜男



山都町長 工藤 秀一

新年、明けましておめでとうございませう。町民の皆様方には、平成28年の新春を、健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。私は、山都町長に就任以来、「町民の皆さんとの対話によるまちづくり」を、一貫した基本姿勢として、一年目から自治振興区単位で「やまトーク」（みんなの座談会）を開催してまいりました。その思いは、山都町の面積は545平方キロメートルと大変広い町で、それぞれに豊かな文化があり、考え方も違うと思います。したがって、この町の行政を画一的な考え方で推進することは難しく、地域の実情に沿って進めることが望ましいと思うからです。「やまトーク」でいただいた、皆様からの貴重なご意見は、まちづくりの各施策に反映させているところです。

山都町は、九州一といわれる豊かな自然や歴史・文化など、誇れるものがたくさんあります。その中でも、蘇陽地区の火伏地蔵まつり、神楽、清和地区の清和文楽、矢部地区の八朔祭りなど、地域の方々が磨き上げてこられた伝統文化は、最も誇れるものです。白石神楽・今村神楽・仁瀬本神社神楽・高畑阿蘇神社神楽は、重厚な太鼓や味わい深い笛の音とともに、若手による舞は見事です。

新年、明けましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、新たな気持ちで新年を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。さて、昨年、本町は、合併して10年の節目の年でした。また、新庁舎が開庁し新しい庁舎で業務が始まり、議会においても、新しい議場で議会活動を始めました。新しい議場には、たくさんの方々が傍聴にお見えになり、特に、高校生など若い人たちの顔ぶれがあったことに大変喜びを感じております。このたび選挙権の年齢が引き下げられたこともあり、若い人たちにも本町の未来についてしっかりと考えてほしいと思っております。

山都町は、九州一といわれる豊かな自然や歴史・文化など、誇れるものがたくさんあります。その中でも、蘇陽地区の火伏地蔵まつり、神楽、清和地区の清和文楽、矢部地区の八朔祭りなど、地域の方々が磨き上げてこられた伝統文化は、最も誇れるものです。白石神楽・今村神楽・仁瀬本神社神楽・高畑阿蘇神社神楽は、重厚な太鼓や味わい深い笛の音とともに、若手による舞は見事です。

議会では、本会議や委員会活動のほか、道路建設の促進について期成会を組織し、道路建設整備に係る活動も行っています。特に、九州中央自動車道は、現在整備が進められているところですが、全線開通までの見通しはまだまだの

子どもたちの神楽舞は、地域の担い手を予感させる確かなものがあります。清和中学校では、文楽継承のために所作おどりを新文楽などで披露しています。このように清和文楽は地域にしっかりと根付き、今や山都町に、なくてはならない農村文化となつています。八朔祭りの大造り物は、全国に類例を見ない唯一のもので、各連合組は威信をかけて夜遅くまで製作に取り組み、他の地域にない連帯感と伝統の技術があります。古来、「文化が閉塞した地域は滅びる」という教訓があります。あらためて、これらの伝統文化を絶やさぬよう、しっかりと守り育てていかなければならないと考えます。